村上市立平林小学校　学校だより　NO.10　　令和８年９月１１日

わかみどり

http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp

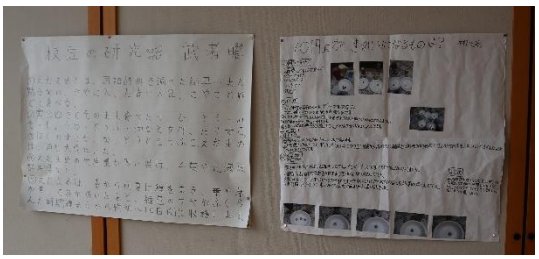


夏休みの学びが大集合！

２学期が始まって2週間。子どもたちも、少しずつ学校生活のリズムを取り戻してきました。各学年のフリースペースには、夏休み中に取り組んだ工作や自由研究などが展示されています。

作品を見ていると、「やってみたい！」という思いからテーマを決め、試したり、工夫したりしながら、一生懸命取り組んだ様子が伝わってきます。どの作品にも、それぞれの興味や発想、頑張りが詰まっています。友達の作品から新たな興味が生まれることも、夏休みの学びの大切な一歩です。







「浮いて待つ」を学ぶ

９月２日・４日に予定していた着衣水泳は、インフルエンザや風邪症状のある児童が多い状況を踏まえ、中止としました。楽しみにしていた児童や、準備をしてくださったご家庭には、申し訳ありませんでした。着衣水泳として実際にプールで学習することはできませんでしたが、学校では、万が一水に落ちてしまった際に命を守るための「浮いて待つ」学習を行いました。水の中では無理に泳ごうとせず、力を抜いて仰向けになり、浮いた状態で助けを待つことの大切さを学びました。





水の事故から自分の命を守るためには、泳ぐ技能だけでなく、「どうすれば助かることができるか」を知っておくことも大切です。今回の学習を、今後の安全な生活につなげてほしいと思います。

粟島汽船で貴重な船上体験

９月３日、６年生が金屋小学校と合同で、粟島汽船の乗船体験を行いました。船のブリッジ（操舵室）を見学したり、ロープワークを体験したりするなど、普段は見ることのできない船の仕事について学びました。また、船で岩船沖海洋ガス田の近くまで行き、海上から施設を見学しました。残念ながら、５年生はインフルエンザによる学級閉鎖のため参加できませんでしたが、来週、出港はできないもののお願いをして特別に乗船体験の機会を設けていただく予定です。







地域の方々に支えていただきながら





９月４日、避難訓練を行いました。今回は、不審者対応についての訓練です。毎年、スクールガード・リーダーの東海林様を講師にお招きし、教室に不審者が入ってきた場合の対応や、登下校中、外で不審者に出会ったときの身の守り方について、実際に体を動かしながら学習しています。「いざ」というときに、自分で考え、行動することの大切さを学びました。

また、９月７日には、毎年お世話になっている「茶がまの会」の皆様から、昔語りをしていただきました。子どもたちは学年部ごとに分かれ、地域に伝わる昔話などにじっくりと耳を傾けました。語り手の方の声や表情から、昔の人々の暮らしや思いを感じ取る貴重な時間となりました。







さらに、９月９日には、３年生が総合的な学習の時間に、塩谷地区について学習しました。今回は、元菓子屋さんの野澤様から、塩谷の歴史や暮らしについてお話を伺いました。今後は実際に現地を訪れて学習を深め、１０月２５日の「ハロウィン＆かかし祭り」で、これまでの学習の成果を発表する予定です。

地域の皆様との出会いや関わりを通して、子どもたちの学びがさらに豊かなものになっています。ご協力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。



下記のリンク・またはQRコードからご意見・ご質問をフォームでお聞かせください。お電話等でも随時、お待ちしています。

https://forms.gle/i8NdZ4DsiAyFqVJj6